

第33回 くにたち兼松講堂 音楽の森コンサート
ベートーヴェン生誕250年(2020)プロジェクト Vol.8

仲道郁代のベートーヴェン

～「悲愴」「月光」「熱情」「告別」～

演奏活動30年余。日本音楽コンクール第1位、ジュネーブ国際音楽コンクール最高位ほか多くの受賞歴とともに、ベートーヴェンを極める旅を続ける仲道郁代さんが、兼松講堂に初登場! ナビゲーター・西原稔(桐朋学園大学音楽学部教授)とのベートーヴェン・トークもお楽しみに。

ピアノ
仲道郁代

ナビゲーター
西原 稔(桐朋学園大学音楽学部教授)

2019年5月12日(日)

14:00 開演 (13:15 開場)

一橋大学兼松講堂
(JR国立駅南口徒歩7分)

【プログラム】

ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ

第8番 八短調 Op.13 「悲愴」

第14番 嬰ハ短調 Op.27-2 「月光」

第23番 へ短調 Op.57 「熱情」

第26番 変ホ長調 Op.81a 「告別」

兼松講堂エントランスより本館を望む

© Kiyotaka Saito

【入場料】

前売券：S席 4,000円(指定) A席 3,000円(自由)

学生券 1,500円(自由) [30歳未満。入場時に学生証の提示を求めることがあります。]

当日券：各500円増し(チケット料金は何れも消費税込み)

■親子セット券(限定20席)…保護者同伴の小・中・高生は学生券で指定席可(裏面参照)。

★親子セット券のお申込み、車椅子でのご来場の方は、主催者事務局まで

★未就学児童のご入場、お車でのご来場はご遠慮ください。

■公演に関するお問合せ：090-8495-4582(主催者事務局)

●チケットのお求め●

◆公式ホームページからのお申込み

<http://www.josuikai.net/circle/josuiconcert/>

如水コンサート企画

検索

⇒トップページの〈一般の方のお申込み〉サイトからお入り下さい。

◆問合せ・電話予約・NPOおんがくの共同作業場 ☎042-522-3943
(平日10:00～16:00)

◆国立市内取扱店・一橋大生協(西ショップ)・「白十字」南口店
・くにたち市民芸術小ホール・「とれたの」

□公演に関するお問合せ：090-8495-4582(主催者事務局)

主催：ボランティアチーム如水コンサート企画

後援：(社)如水会・新三木会・国立市・国立市教育委員会・国立市社会福祉協議会・(公財)くにたち文化・スポーツ振興財団・国立市商工会
国立市観光まちづくり協会・国立市商業協同組合・国立商工振興(株)・国際ソロプチミストくにたち

協力：一橋大学管弦楽団、「Café こたの」(一橋大まちづくりサークル)

2020年のメモリアル・イヤーを目指して回を重ねてきた、兼松講堂における《ベートーヴェン生誕250年(2020)プロジェクト・シリーズ》も第8回目。いよいよ“ベートーヴェンの求道者”ともいべき仲道郁代さんが登場する。

今までこのシリーズにお招きしたピアニストの中では、小菅優・迫昭嘉・菊地裕介さんが、ベートーヴェンのピアノ・ソナタ全32曲の録音を完成しているが、仲道郁代さんも数回にわたる全曲演奏会と併行して、早々に全曲録音に取り組み(2003～05年)、「ピアノ・ソナタ全集」が2007年度レコード・アカデミー賞を受賞。一方「ピアノ協奏曲全集」についても、ほぼ同時期に、今や世界的に活躍する若き巨匠・指揮者パーヴォ・ヤルヴィと彼の手兵のドイツ・カンマーフィルとのCDとDVDを完成させている。

仲道さんのベートーヴェンを極める“旅”は止まらない。演奏活動30周年を機に、楽聖の没後200年(2027年)を目指して、新たなリサイタル・シリーズ「仲道郁代 Road to 2027 プロジェクト」が昨年スタートしている。

奇しくも2027年は、一橋大学兼松講堂竣工100周年の年でもある。

ベートーヴェンの、否、あらゆるピアノ・ソナタの中でも傑作中の傑作4曲を、心ゆくまでお楽しみ頂ければ幸いである。

ボランティアチーム 如水コンサート企画

仲道 郁代(ピアノ) Ikuyo NAKAMICHI



©Kiyotaka Saito

桐朋学園大学1年在学中に第51回日本音楽コンクール第1位。ジュネーヴ国際音楽コンクール最高位、メンデルスゾーン・コンクール第1位、エリザベート王妃国際音楽コンクール第5位と受賞を重ね、以後ヨーロッパと日本で本格的な演奏活動を開始。

これまでに国内の主要オーケストラと共演するほか、マゼール指揮ピッツバーク響、バイエルン放送響、フィルハーモニア管、ズッカーマン指揮イギリス室内管(ECO)、ブルゴス指揮ベルリン放送響、P.ヤルヴィ指揮ドイツ・カンマーフィルハーモニーなど、海外オーケストラとも多数共演。

CDはソニー・ミュージックジャパンと専属契約を結び、「ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ全集」(レコード・アカデミー賞)、「モーツァルト：ピアノ・ソナタ全集」など、高い評価を得ている。著書に『ピアニストはおもしろい』(春秋社)等がある。2017/2018シーズンより、ベートーヴェン没後200周年の2027年に向けたリサイタル・シリーズ(「仲道郁代 Road to 2027 プロジェクト」)を展開している。

一般社団法人音楽がヒラク未来代表理事、一般財団法人地域創造理事、桐朋学園大学教授、大阪音楽大学特任教授。オフィシャル・ホームページ<http://www.ikuyo-nakamichi.com>

西原 稔(監修・ナビゲーター) Minoru NISHIHARA



山形県生まれ。東京藝術大学大学院博士課程満期修了。桐朋学園大学音楽学部教授。

18、19世紀を主対象に音楽社会史や音楽思想史を専攻。

著書に『音楽家の社会史』、『聖なるイメージの音楽』、『音楽史ほんとうの話』、『ブラムス』、『シューマン全ピアノ作品の研究』(以上、音楽之友社)、『クラシック 名曲を生んだ恋物語』(講談社)、『「楽聖」ベートーヴェンの誕生』(平凡社)、『クラシックでわかる世界史』、『ピアノ大陸ヨーロッパ』(以上、アルテスパブリッシング)、『世界史でたどる名作オペラ』(東京堂出版)、『ピアノの誕生・増補版』(青弓社)などの著書のほかに、共著・共編で『ベートーヴェン事典』(東京書籍)、訳書に『魔笛とウィーン』(平凡社)、監訳・共訳で『ルル』、『金色のソナタ』(以上、音楽之友社)、『オペラ事典』、『ベートーヴェン事典』(以上、平凡社)などがある。

“音響オンリーワン、環境ナンバーワン”一橋大学兼松講堂

武蔵野の面影が残るキャンパスの一角に佇む一橋大学のシンボリック建物・兼松講堂(政府登録有形文化財)は、その響きの良さから、創建(1927年)以来、内外の代表的音楽家が多数来演、近年ではチェコフィルハーモニー(指揮アシュケナーズ&ピアノ)やウィーンフィル・ベルリンフィルのトップ奏者たちが演奏するなど、コンサート・ホールとしても親しまれています。

2004年3月、社団法人如水会(一橋大学の同窓会組織)による募金活動により77年ぶりに音響的にも配慮された大改修が行われ、自然な響きを持った本格的なコンサート・ホールとして蘇ったのを機に、翌2005年から「くにたち兼松講堂 音楽の森コンサート」(兼松講堂如水コンサート)や一橋大学管弦楽団の演奏会が定期的に行われています。



● チケットのお求め ●

◆公式ホームページからのお申込み

<http://www.josuikai.net/circle/josuiconcert/>
⇒トップページの(一般の方のお申込み)サイトからお入り下さい。

如水コンサート企画

検索

◆お問合せ・電話予約

・NPOおながくの共同作業場

☎042-522-3943 (平日10:00~16:00)

◆国立市内の取扱店

・一橋大学生生活協同組合(西ショップ)

☎042-575-4184

・洋菓子・喫茶「白十字」南口店

☎042-572-0416

・くにたち市民芸術小ホール

☎042-574-1515

・「とれたの」(富士見台団地“むっさ21”内)

☎042-573-3444



親子セット券のご案内

S(指定)席をお求めの方が、お子さま(小・中・高生)を同伴される場合、お子さま用の指定席を学生券価格で販売いたします(2階バルコニー席・20セット限定)。主催者事務局に直接お申込み下さい。(→TEL:090-8495-4582)